



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブリヂストン横浜工場 青年会館	階数	地上6F
建設地	横浜市戸塚区矢部町字池田466番1外	構造	RC造
用途地域	工業地域、22条区域	平均居住人員	190 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 竣工	評価の実施日	2017年6月21日
敷地面積	6,829 m ²	作成者	(株)梓設計
建築面積	1,705 m ²	確認日	2017年6月23日
延床面積	7,944 m ²	確認者	(株)梓設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物は整形でシンプルな外形とし、白を基調とした色彩計画とすることで周辺景観と調和する外観計画とした。また、敷地内は積極的に緑化を図り、敷地内外を問わず環境向上に寄与できる計画とした。		
Q1 室内環境 JRIに近接している建物であることや、各居室のプライバシーに配慮しサッシ、界壁の遮音性能の向上を図る。また、採光については、居室を南または東向きとし、できるだけ隣棟間隔を確保することで十分な採光条件を確保した。	Q2 サービス性能 階高や天井高さについては快適性を重視してゆとりある計画とした。また、免震建物とすることで耐震性にも配慮し安心して居住できるよう配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内は15%以上の緑化率を確保し環境保全と景観に配慮した計画とした。また敷地内セキュリティとして出入口が視認できる監視カメラを設置した。
LR1 エネルギー 断熱材は30mmとし、適切な断熱性能を確保した。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を採用し水資源の保護に努めた。	LR3 敷地外環境 敷地外周部を積極的に緑化し周辺景観への寄与に努めた。また前面道路に対しては2mの歩道上空を確保し、近隣住民を含めた歩行者の安全性に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



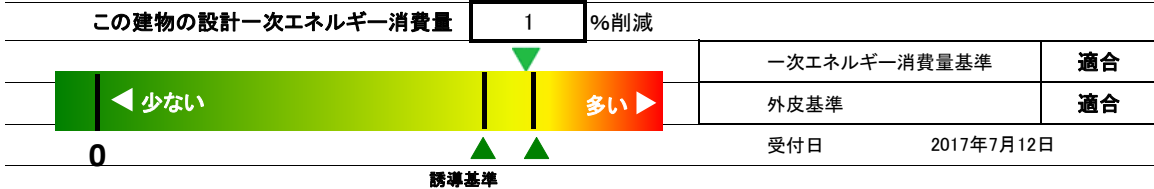
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ブリヂストン横浜工場 青年会館**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①壁にALC及び現場発泡吹付断熱材t30mm、サッシュには複層ガラスを採用し、十分な断熱を行っている。
- ①屋根に押出法ポリスチレンフォーム保温板t30mmを採用し、十分な断熱を行っている。
- ③全熱交換換気ユニットの採用,高効率タイプのガス給湯器の採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑮免震構造とすることで建築基準法に定められた耐震性の50%増を有するとみなすことが可能
- ⑮建物全体を免震RC造で構成することで耐震性の向上を図る

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑲周辺施設との色調を合わせ、まちなみ・景観に配慮
- ⑲前面道路沿いには豊かな植栽エリアを計画し、良好な景観を形成

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	